

令和 2 年度

事業報告書及び決算書

公益財団法人 平塚市生きがい事業団

目 次

事業報告書

事業概要	1
評議員会に関する事項	8
1 評議員会の開催状況	8
2 評議員名簿	8
理事会に関する事項	9
1 理事会の開催状況	9
2 役員名簿	10
配分金等に関する事項	11

決算書

貸借対照表	12
正味財産増減計算書	13
財産目録	15
財務諸表に対する注記	16
付属明細書	18

監査報告書

監査報告書	19
-------	----

事業報告書

令和2年4月1日

}

令和3年3月31日

事業概要

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、年度内に2回、約4か月にわたる緊急事態宣言が発出されました。感染症の影響は甚大かつ長期化しており、地域経済のみならず暮らしの中にも「新しい生活様式」が求められ、不要不急の外出や飲食店の営業時間短縮など様々な制約を要求されています。このことから、令和3年3月に厚生労働省が発表した神奈川県内の有効求人倍率は、0.76倍と非常に低くなっており、当事業団でも依然として厳しい労働環境が続いていますが、粉骨砕身の努力を行ってきました。

事業内容は、請負・委任事業の契約金額が5億355万余円となり、前年度より7,659万余円、率にして13.2%の減となりました。主な原因としては、前述の新型コロナウイルス感染症の影響で、発注先から就業中止や就業時間短縮の要請があったことがあげられます。しかしながら、派遣事業の契約金額は1億3,305万余円で前年度より573万余円、率にして4.5%の増となりました。請負・委任事業と派遣事業を合わせた最終契約金額は、6億3,661万余円となり、前年度に比べ7,086万余円、率にして10.0%の減となり、派遣事業が占める割合は、20.9%で年々増加しています。

会員の登録状況は、年度末の会員数は1,780人となり、2年連続で増員となりましたが、目標の1,890人には届きませんでした。入会員数は、189人で前年と比較して23人の増となっています。これは、入会会員紹介キャンペーンでの報奨金の支給や神奈川県シルバー人材センター連合会と共催した技能講習会などを実施したことが加入増につながったと考えておりますが、国による「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」の改正により、雇用年齢が5歳引き上げられたことにより、60～64歳の男性会員が半減しているなどのことから、人材確保に苦戦を強いられています。退会者数は、本人の病気・加齢・就業機会がないなどの理由により108人となり、前年度と比べ5人減少しました。また、財源の確保と会員拡大、適正就業を図るため、平成27年度より始まった国庫補助金の「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」を活用し、地域情報誌に事業団の業務内容等を掲載することや、路線バス内のデジタルサイネージ(ディスプレイによる電子看板)に広告を掲出するなど、情報発信に努めてきました。

なお、令和元年度に「新規事業検討会議」を立ち上げ、市職員をアドバイザーに迎えて協議・検討を行い『平塚市生きがい事業団経営改革に係る構想』を策定しました。その中で、3つの取組(①社会のニーズ把握、②既存事業及び新規事業の展開、③ニーズの分析に基づくPRの強化)を定め、職種の受注拡大や経営改革に取り組み、より一層健全な運営に努めて行きます。

今後も、コンプライアンスを遵守し、高齢者への生きがいの提供や地域社会に貢献する公益性の高い事業団を目指し、会員・役職員が一丸となって事業を展開してまいります。

1 会員数増加と会員のスキルアップ

○会員の状況

正会員

(単位：人)

	R2.3.31	入会者数	退会者数	増減	R3.3.31
男	1,216	123	66	57	1,273
女	483	66	42	24	507
計	1,699	189	108	81	1,780

○会員規程を整備し、事業団の諸活動に参加する意欲のある特別会員の方には、正会員として継続できるものとするため、特別会員制度を廃止し、1つの会員制度としました。

その他、事業団以外で就業する会員や入会希望者も多いことから、就業条件を合算して月10日または週20時間と明確化しました。

特別会員（ゴールド会員）

(単位：人)

	R2.3.31	入会者数	退会者数	増減	R3.3.30※
男	21	0	7	△7	14
女	9	0	1	△1	8
計	30	0	8	△8	22

※年度末に特別会員を正会員に繰り入れたため3月30日現在の会員数を示しています。

○月2回の会員登録説明会とは別に出張説明会や就業に活かせる技能講習を組み合わせた登録説明会を実施しました。

開催日	内容	場所	参加者数
9/30	出張説明会	西部福祉会館	10名
3/23	技能講習（窓掃除）	事業団	9名

○新規会員を獲得するために、紹介会員と新規会員に報奨金を支給し、新規に会員が入会しました。

年度	入会者数
元	39名
2	32名

○会員向けに円滑な事業運営とサービスの質の向上のため、接遇研修や技能講習会を実施しました。

(新規就業会員研修)

開催日	名称	参加者数	内容等
8/24	新規就業会員接遇研修	17名	初めて就業した会員を対象に外部講師及び事務局職員による接遇や会員の心構え、就業上の注意事項、留意点などについて
11/24		11名	
12/14		8名	

(意識・技能向上研修)

開催日	名称	参加者数	内容等
6/17	刈払機講習会	7名	除草班会員を対象に開催 ・草刈作業の安全作業マニュアルの説明

			・刈払機実習
9/1、 3/10	植木班長会議（書面对応）	延 52 名	植木班長・副班長を対象に書面での伝達 ・事故防止、発注者からのクレームについて ・コロナ対応等
9/11、 3/8	サポート班定例会議	延 43 名	サポート班会員を対象に開催 ・配分金改定 ・就業上の注意点 ・最近の受注傾向 ・意見交換会
11/18	除草班班長会議	7 名	除草班長を対象に定例会議を開催 ・飛び石事故の注意喚起と養生の徹底について
2 月 (中止)	安全管理講習会 (新型コロナウイルス感染症の影響により中止)		全就業会員を対象に開催 ・「会員の安全就業と健康促進に向けて」
2/15	介護予防・日常生活支援総合事業 A 類型サービス従事者研修	7 名	市地域包括ケア推進課が実施した研修会にサポート班会員が参加 ・介護保険制度説明 ・従事者の心がまえ ・訪問型サービス A のサービス内容 ・高齢者の特徴理解と対応方法 ・サービス提供者宅訪問マナー
3/23	窓掃除（再掲）	9 名	入会希望者を対象に開催 ・窓掃除の実演 ・会員登録説明会
3/25	植木班新班長・新副班長研修会	10 名	植木班新班長・新副班長を対象に開催 ・顧客対応時の注意点について

○女性向け入会説明会を実施しました。

開催日	参加者数	内容
2/15	9 名	・女性会員と事務局女性職員が講師となって説明をした

○女性会員増強のために、洋服などのリフォームと小物作りをする「リフォーム手作り工房『縫』(ぬい)」により、事業団窓口や市役所出張所等での販売などを行いました。

年 度	手作り品の作製と販売			服のリフォーム			マスクの製作販売		
	販売数 (個)	延人員 (人)	売上金額 (円)	件数 (件)	延人員 (人)	売上金額 (円)	件数 (件)	延 人 員 (人)	売上金額 (円)
元	822	491	290,900	56	337	793,432	—		
2	1,192	379	393,930	52	295	749,406	1,115	142	256,840

○神奈川県シルバー人材センター連合会と共催で、植木せん定講習会、学童保育補助スタッ

フ講習会を開催しました。学童保育については、学童保育補助スタッフとしての知識・技術を身に着けた受講修了者がいる旨のPR文書を市内学童保育事業者40か所に送付しました。

2 組織機能の強化

- 地区班員からの要望や意見の協議、事業団の方針、情報等を地区班員へ周知することなどを目的とした「地区班長連絡会議」を開催しました。

会議開催数：2回（3回のうち1回は新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

- 地区班の活動を支援するため、活動交付金を交付しました。

21地区：640,000円

- 地区班代表の3名のブロック長を会員理事とし、会員による主体性・自発性を活かした組織運営を推進するため、「ブロック長会議」を開催しました。

会議開催数：3回

- 会員在籍が10年並びに15年の就業会員と地区班役員として6年以上にわたり事業団に貢献した会員70名を表彰しました。

- 会員の主体的な社会貢献活動の支援として、ボランティア活動の推進をしました。

内容	従事者
地区公民館等での清掃、植木のせん定、除草	地区班3班、21人
地区公民館の障子張り替え	地区班1班、6人
公園での清掃、花植え（公園愛護会への協力）	地区班3班、13人

3 健全な運営と財政的自立

- 経営改革について、平塚市や事務局内部で検討を重ね、『平塚市生きがい事業団経営改革に係る構想』をまとめ、さらに、新規事業についても検討しました。

- 国庫補助金の運営費は、格付けA（A～C）ランクで8,800千円ですが、さらに、会員拡大や派遣事業推進のための高齢者活用・現役世代雇用サポート事業費5,700千円を獲得し、市補助金も14,500千円と令和元年度と同額を維持することができました。

- 平塚市で導入している「職員人事評価システム」を取り入れ、プロパー職員の人材育成と能力開発の推進を図りました。

- オンライン授業・オンライン会議を推進するための環境を整備する目的のITサービス導入支援補助金558,000円を獲得し、パソコン教室の設備を拡充しました。

- コロナ禍で、財政状況が厳しい中、平塚市より中小企業応援金として、50,000円を獲得しました。

4 就業機会の拡大

- 特殊技能を持たれた方々の活躍の場となっている「寺子屋事業」を展開しました。

年度	内容	延人員(人)	配分金(円)	契約金額(円)
元	継続 書道教室、おさらい教室、パソコン教室他	2,208	5,018,657	5,915,690
	単発 夏休みおさらい教室、パソコン指導他	76	211,705	234,551
2	継続 書道教室、おさらい教室、パソコン教室他	1,618	3,798,744	4,502,317

	単発 夏休みおさらい教室、パソコン指導他	103	158,720	182,189
--	----------------------	-----	---------	---------

- 会報「いきがい広場」にて、就業情報説明会・相談会の参加募集を行い、希望者には個別相談によりマッチングを行い、未就業会員の就業に結びました。

年度	実施日	参加者数(人)
元	1回目 7/22	4
	2回目 11/18	20
	3回目 3/23 (新型コロナウイルス感染症の影響により中止)	—
2	1回目 7/27	8
	2回目 11/30	21
	3回目 3/22	9

- 平成28年より開始した「介護予防・日常生活支援総合事業」の訪問型サービスAを展開しました。

年度	受注件数(件)	就業延人員(人)	契約金額(千円)
元	43	1,797	2,667
2	39	1,811	2,897

- 公共事業を受注するために、平塚市の部長会議の場で福祉部長より、課長には各課長宛依頼文書にて、生きがい事業団活用の依頼を行いました。
- 平塚市との「空家等対策における連携及び協力に関する協定」に基づき、空家関連事業のPRを行いました。

受注内容	件数(件)	契約金額(円)
空家管理(状況報告)	2	89,100
空家等の植木せん定	7	467,880
空家等の除草、草刈り	60	1,973,892
合計	69	2,530,872

- 特別養護老人ホーム、老人保健施設、有料老人ホーム62事業所に、高齢者の就業についてアンケート調査を実施するとともに、事務系職種の発注依頼を行いました。
- 派遣事業を受注している53事業所に、会員の仕事ぶりのアンケート調査と、事務系職種の発注依頼を行いました。
- 平塚市からの要請を受け、買い物支援事業を開始しました。

年度	受注件数(件)	就業延人員(人)	契約金額(千円)
2	2	27	43

5 就業の適正化

- 事業所等からの発注で請負・委任になじまないものは、労働者派遣事業・有料職業紹介事業で対応し、適正就業の推進と就業の場の拡大を図りました。

労働者派遣事業

年度	派遣件数(件)	年間実就業会員数(人)	契約金額(千円)
元	134	268	127,317
2	128	268	133,054

有料職業紹介事業

年度	紹介件数(件)	年間就業会員数(人)	賃金金額(千円)
元	1	1	409
2	1	9	669

- 業務拡大（派遣業務の就業時間延長）の指定について、神奈川県シルバー人材センター連合会の協力を得て、令和元年度の4業種に続き神奈川県知事の指定を受け、さらに令和2年度6業種について追加することができました。
- 会員住所情報を地図に落とし込み、地図上で会員検索が出来るように職員がプログラムを作成し、毎月最新の情報になるよう情報更新を行いました。

6 情報の発信

- 会報「いきがい広場」の発行、ホームページ、新聞社等メディアへの情報提供、地区班による公民館まつりへの参加、市役所特別出張所などを通じて市民へのPRに努めました。

事業	内容
会報「いきがい広場」の発行	5月、9月、1月の年3回発行しました。
メディアへの情報提供	市役所特別出張所の開催に関連し、広報ひらつか、湘南ジャーナルに情報提供を行いました。 湘南ジャーナルへ事業団の広告や寺子屋事業の参加者募集を掲載しました。また、事務系職種に従事する会員紹介をする記事の特集を掲載しました。
市役所特別出張所	事業団のPRを行い、新規会員の入会促進や仕事の新規開拓を行いました。4日間開催、累計来場者数626人、受注件数8件でした。
公民館まつり	新型コロナウイルス感染症の影響により、公民館まつりは中止又は利用団体の作品展示のみとなったため、地区班は参加出来ませんでした。
所有車へのマグネット広告・ペイント広告	会員募集や仕事募集の広告を掲示しました。
ホームページの更新	職員がリアルタイムに情報を提供しました。

- 事務系職種に特化した内容で、神奈中バスにデジタルサイネージ（ディスプレイによる電子看板）を掲出しました。

7 行政・地域関係団体との連携

- 理事長及び会員理事による市長面談を行い、事業団への支援要請を行いました。
- 平塚市、事業団で協議を重ね、「平塚市生きがい事業団経営改革に係る構想」を策定し、その中で、新規就業機会についても検討しました。
- 平塚市の協力を得て、平成28年4月より、市役所本館1階多目的スペースで毎月第3火曜日に、「平塚市生きがい事業団出張所」を開設しました。また、11月には同スペースで特別出張所を4日間開催しました。
- 近隣シルバー人材センターと一緒にハローワーク担当者と情報交換をしました。

- ハローワークが事業団あてに紹介状を発行することにより、就業を希望する高齢者を紹介してもらい、入会に向け連携しています。
- 平塚市やハローワークが主催する面接会等に事務局職員が出席しました。

開催日	名称	主催者
11/20、3/15	高齢者向け就労支援セミナー・個別相談会	平塚市高齢福祉課
11/25	高齢者雇用面接会	ハローワーク平塚

- 「介護予防・日常生活支援総合事業」を展開するため、市地域包括ケア推進課のA類型サービス従事者研修に会員が参加しました。
- コロナ禍で外出困難な高齢者のために、平塚市からの要請で買い物支援事業を開始しました。

8 安全対策

- 安全就業実施計画に基づき、安全管理委員会を中心に事故分析や事故防止策を立案するとともに、安全管理委員による現場巡回視察での安全指導など会員の安全就業に努めました。
- 全会員に向けた会報「いきがい広場」で安全就業へのメッセージと題した記事を掲載し、安全就業の啓発を行いました。また、安全管理委員会の議事抄録を配布して情報提供することにより、安全就業に努めました。
- 改正された作業別安全・適正就業基準や事故取扱基準に基づき、事故防止に努めました。
- 令和3年度から熱中症警戒アラート全国本格運用を控え、今夏は現場にWBGT（暑さ指数）簡易測定器を試験導入しました。さらに、熱中症警戒アラート区分に応じた事業団独自の対応基準案「熱中症予防マニュアル（試行版）」も示し、現場の意見を反映させた基準策定の準備を進めました。

評議員会に関する事項

1 評議員会の開催状況

開催年月日	会議名	議案番号等	件名
令和 2.4.20	第 1 回臨時評議員会（決議省略）	第 1 号議案	理事の選任について
令和 2.5.25	定時評議員会（決議省略）	報告 第 2 号議案 第 3 号議案 報告	評議員選任の報告について 理事及び監事の選任について 令和元年度公益財団法人平塚市生きがい事業団事業報告及び決算の承認について 令和 2 年度公益財団法人平塚市生きがい事業団事業計画及び予算の報告について

2 評議員名簿

氏名	就任日	退任日	備考
石原健次	平成 24 年 4 月 1 日	令和 2 年 5 月 2 5 日	
井上俊介	平成 28 年 5 月 24 日	令和 6 年度の定時評議員会の終結の時まで	
岩崎和子	令和 2 年 4 月 13 日	〃	
梅原謙司	平成 24 年 4 月 1 日	〃	
黄川田文七	令和 2 年 5 月 2 5 日	〃	
小清水恆夫	令和元年 11 月 7 日	令和 2 年 1 0 月 2 日	
澤野重次郎	平成 29 年 12 月 1 日	令和 6 年度の定時評議員会の終結の時まで	
杉崎静男	令和 2 年 10 月 2 日	〃	
津田勝稔	平成 29 年 5 月 15 日	令和 2 年 4 月 1 3 日	
常盤卓嗣	平成 28 年 7 月 26 日	令和 6 年度の定時評議員会の終結の時まで	
鳥海衡一	令和 2 年 5 月 2 5 日	〃	
中津川隆則	平成 28 年 5 月 24 日	〃	
成田康祐	平成 29 年 5 月 15 日	令和 2 年 5 月 2 5 日	
村田泰幸	令和 2 年 5 月 2 5 日	令和 6 年度の定時評議員会の終結の時まで	
山口善久	平成 30 年 5 月 14 日	令和 2 年 5 月 2 5 日	

理事会に関する事項

1 理事会の開催状況

開催年月日	会議名	議案番号等	件名
令和 2.4.1	第 1 回臨時 理事会（決 議省略）	第 1 号議案 第 2 号議案	評議員選定委員会委員の選任について 決議省略によるみなし評議員会について
令和 2.5.8	第 1 回定時 理事会（決 議省略）	第 3 号議案 第 4 号議案 第 5 号議案 第 6 号議案 第 7 号議案 報告	令和元年度公益財団法人平塚市生きがい事業団事業 報告及び決算の承認について 評議員候補者の評議員選定委員会への推薦について 評議員選定委員会委員の選任について 令和 2 年度定時評議員会の日時及び場所並びに目的 である事項について 公益財団法人平塚市生きがい事業団評議員選定委員 会設置規則の一部を改正する規則について 令和元年度業務状況報告について
令和 2.5.25	第 2 回臨時 理事会（決 議省略）	第 8 号議案 第 9 号議案 第 10 号議案	理事長の選任について 常務理事の選任について 安全管理委員の選任について
令和 3.2.25	第 3 回臨時 理事会（決 議省略）	第 11 号議案	令和 2 年度公益財団法人平塚市生きがい事業団補正 予算（第 1 号）について
令和 3.3.16	第 2 回定時 理事会	第 12 号議案 第 13 号議案 第 14 号議案 第 15 号議案 第 16 号議案 第 17 号議案 報告	令和 2 年度公益財団法人平塚市生きがい事業団補正 予算（第 2 号）について 令和 3 年度公益財団法人平塚市生きがい事業団事業 計画について 令和 3 年度公益財団法人平塚市生きがい事業団予算 について 令和 3 年度の資金調達及び設備投資の見込みについ て 公益財団法人平塚市生きがい事業団会員役員会設置 規程の一部を改正する規程について 公益財団法人平塚市生きがい事業団会員規程の一部 を改正する規程について 令和 2 年度業務状況報告について

2 役員名簿

役職名	氏名	就任	任期	備考
理事長	升水一義	平成30年5月25日	令和4年度の定時評議員会の終結の時まで	
常務理事	鈴木千代治	平成29年11月1日	〃	
理事	赤羽まさ子	令和2年5月25日	〃	
〃	秋山幹雄	平成28年5月24日	令和2年5月25日	
〃	浅尾光恵	〃	〃	
〃	今井修己	平成30年4月1日	令和2年4月20日	
〃	植松豊夫	令和2年5月25日	令和4年度の定時評議員会の終結の時まで	
〃	久保井直次	平成30年5月25日	〃	
〃	久保利秋	令和2年4月20日	〃	
〃	栗田征治	平成28年5月24日	令和2年5月25日	
〃	坂井久美子	令和2年5月25日	令和4年度の定時評議員会の終結の時ま	
〃	佐々木昭雲	平成28年5月24日	令和2年5月25日	
〃	羽角俊夫	令和2年5月25日	令和4年度の定時評議員会の終結の時まで	
〃	濱島輝	平成30年5月25日	〃	
〃	吉澤重俊	令和2年5月25日	〃	
監事	池谷好秀	〃	〃	
〃	西海俊夫	平成24年4月1日	令和2年5月25日	
〃	橋本正秋	〃	令和4年度の定時評議員会の終結の時まで	

配分金等に関する事項

(令和2年度)

月	会員数 (人)	就業実人 員 (人)	受注件数 (件)	就業延人 員 (人)	配分金額 (円)	契約金額 (円)
4	1,696	710	640	7,204	29,435,283	33,809,938
5	1,698	688	293	7,172	28,980,932	33,588,421
6	1,708	758	513	9,540	40,869,146	48,521,149
7	1,711	762	482	9,734	41,687,563	49,991,814
8	1,725	701	319	8,338	33,615,784	39,011,976
9	1,734	760	440	9,398	39,927,834	47,133,661
10	1,741	748	596	10,342	44,570,067	52,974,781
11	1,739	750	496	9,712	42,318,639	49,868,817
12	1,742	723	400	8,584	36,397,993	42,700,520
1	1,741	655	108	6,602	25,932,521	29,116,276
2	1,747	703	227	7,330	30,282,126	36,103,487
3	1,780	733	135	7,713	31,438,521	40,737,790
計			4,649	101,669	425,456,409	503,558,630

派遣事業を含めた実績

年度	区分	受注件数 (件)	就業実人 員 (人)	就業延人員 (人)	配分金額/賃 金 (円)	契約金額 (円)
元	請負・委任	5,343	1,006	116,532	498,517,554	580,157,705
	派遣事業	134	268	22,741	100,613,947	127,317,761
	計	5,477	1,274	139,273	599,131,501	707,475,466
2	請負・委任	4,649	908	101,669	425,456,409	503,558,630
	派遣事業	128	268	23,548	103,988,050	133,054,152
	計	4,777	1,176	125,217	529,444,459	636,612,782

決 算 書

令和 2 年 4 月 1 日

}

令和 3 年 3 月 31 日

貸借対照表

令和 3年 3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	32,016	14,503	17,513
当座預金	26,086,865	18,328,679	7,758,186
郵便振替口座	768,462	508,662	259,800
普通預金	21,122,504	20,468,315	654,189
未収金	46,379,269	55,640,469	△ 9,261,200
仮払金	0	0	0
立替金	0	0	0
前払金	32,000	32,000	0
労働者派遣事業貸付金	0	0	0
他会計貸付金	0	0	0
流動資産合計	94,421,116	94,992,628	△ 571,512
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産	2,000,000	2,000,000	0
基本財産合計	2,000,000	2,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	34,302,580	32,068,590	2,233,990
減価償却引当資産	18,641,761	18,336,649	305,112
財政運営資金積立資産	3,000,000	0	3,000,000
特定資産合計	55,944,341	50,405,239	5,539,102
(3) その他固定資産			
車輛運搬具	5,239,092	6,126,391	△ 887,299
什器備品	1,179,256	583,101	596,155
リース資産	1,216,944	2,433,888	△ 1,216,944
電話加入権	149,968	149,968	0
出資金	30,000	30,000	0
預託金	89,398	89,918	△ 520
その他固定資産合計	7,904,658	9,413,266	△ 1,508,608
固定資産合計	65,848,999	61,818,505	4,030,494
資産合計	160,270,115	156,811,133	3,458,982
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	37,383,081	40,978,493	△ 3,595,412
前受金	12,474	34,101	△ 21,627
預り金	57,940	22,854	35,086
仮受金	0	0	0
市借入金	0	0	0
他会計借入金	0	0	0
期末勤勉手当引当金	3,813,496	2,852,925	960,571
流動負債合計	41,266,991	43,888,373	△ 2,621,382
2. 固定負債			
退職給付引当金	34,302,580	32,068,590	2,233,990
リース負債	1,216,944	2,433,888	△ 1,216,944
固定負債合計	35,519,524	34,502,478	1,017,046
負債合計	76,786,515	78,390,851	△ 1,604,336
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2,000,000	2,000,000	2,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(2,000,000)	(2,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
81,483,600	76,420,282	76,420,282	5,063,318
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(21,641,761)	(18,336,649)	(3,305,112)
正味財産合計	83,483,600	78,420,282	5,063,318
負債及び正味財産合計	160,270,115	156,811,133	3,458,982

正味財産増減計算書

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	500,661,030	577,489,955	△ 76,828,925
受取配分金	423,436,189	496,643,584	△ 73,207,395
受取材料費等	35,596,034	37,176,058	△ 1,580,024
受取事務費	41,628,807	43,670,313	△ 2,041,506
労働者派遣事業等受託収益	11,410,487	11,263,514	146,973
労働者派遣事業等受託収益	11,410,487	11,263,514	146,973
有料職業紹介事業受託収益	73,643	44,172	29,471
有料職業紹介事業受託収益	73,643	44,172	29,471
介護予防日常生活支援総合事業収益	2,897,600	2,667,750	229,850
介護予防保険報酬収益	2,897,600	2,667,750	229,850
管理受託事業収益	1,034,255	1,014,507	19,748
技能センター維持管理業務受託収益	1,034,255	1,014,507	19,748
基本財産運用益	117	199	△ 82
基本財産受取利息	117	199	△ 82
高齢者活躍人材確保育成事業受託収益	326,540	0	326,540
高齢者活躍人材確保育成事業受託収益	326,540	0	326,540
受取会費	246,000	246,000	0
正会員受取入会手続手数料	246,000	246,000	0
受取補助金等	29,558,000	29,000,000	558,000
受取連合交付金	14,500,000	14,500,000	0
受取(市)補助金	15,058,000	14,500,000	558,000
特定資産運用益	4,454	4,933	△ 479
特定資産受取利息	4,454	4,933	△ 479
雑収益	75,900	900	75,000
雑収益	75,900	900	75,000
経常収益計	546,288,026	621,731,930	△ 75,443,904
(2) 経常費用			
事業費	533,463,878	604,857,198	△ 71,393,320
支払配分金	425,456,449	498,517,554	△ 73,061,105
支払材料費等	25,252,245	26,253,904	△ 1,001,659
給料手当	27,131,022	26,754,186	376,836
期末勤勉手当引当金繰入額	3,638,496	2,677,740	960,756
臨時雇賃金	19,165,600	17,403,177	1,762,423
退職給付引当金繰入額	2,233,990	1,992,360	241,630
法定福利費	5,541,446	5,767,341	△ 225,895
退職給付費用	391,230	0	391,230
福利厚生費	318,809	265,869	52,940
会議費	42,669	25,701	16,968
旅費交通費	20,260	53,680	△ 33,420
通信運搬費	2,545,690	3,181,006	△ 635,316
減価償却費	2,753,315	2,576,293	177,022
什器備品費	147,730	0	147,730
消耗品費	376,574	379,570	△ 2,996
修繕費	42,820	117,134	△ 74,314
印刷製本費	1,011,235	1,558,582	△ 547,347
光熱水料費	632,465	648,239	△ 15,774
賃借料	1,756,224	1,743,124	13,100
保険料	4,644,530	4,453,500	191,030
諸謝金	726,900	602,500	124,400
租税公課	4,680,000	5,069,800	△ 389,800
支払負担金	0	2,800	△ 2,800
組織活動助成費	641,296	641,836	△ 540
委託費	4,159,763	3,965,594	194,169
教材費	8,947	12,566	△ 3,619
支払手数料	82,570	88,796	△ 6,226
貸倒損失	40,298	101,501	△ 61,203
雑費	21,305	2,845	18,460

正味財産増減計算書

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
管理費	7,760,829	7,860,719	△ 99,890
役員報酬	3,541,787	3,688,502	△ 146,715
期末勤勉手当引当金繰入額	175,000	175,185	△ 185
法定福利費	551,793	593,273	△ 41,480
退職給付費用	45,360	0	45,360
福利厚生費	29,200	29,200	0
会議費	0	10,000	△ 10,000
役員等旅費交通費	3,240	3,080	160
通信運搬費	54,231	58,014	△ 3,783
減価償却費	393,411	349,771	43,640
什器備品費	12,349	0	12,349
消耗品費	133,684	180,415	△ 46,731
修繕費	133,892	97,682	36,210
印刷製本費	81,730	78,684	3,046
光熱水料費	158,112	162,061	△ 3,949
賃借料	354,816	351,050	3,766
保険料	28,700	29,000	△ 300
諸謝金	30,000	13,158	16,842
支払負担金	248,500	248,500	0
委託費	1,704,791	1,701,468	3,323
支払手数料	6,233	7,876	△ 1,643
雑費	74,000	83,800	△ 9,800
経常費用計	541,224,707	612,717,917	△ 71,493,210
評価損益等調整前当期経常増減額	5,063,319	9,014,013	△ 3,950,694
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	5,063,319	9,014,013	△ 3,950,694
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	2,611	△ 2,611
車両運搬具売却益	0	2,611	△ 2,611
過年度収益修正	0	7,696	△ 7,696
過年度収益修正	0	7,696	△ 7,696
経常外収益計	0	10,307	△ 10,307
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	3,395	△ 3,395
車両運搬具売却損	0	3,395	△ 3,395
固定資産除却損	1	0	1
車両運搬具除却損	1	0	1
経常外費用計	1	3,395	△ 3,394
当期経常外増減額	△ 1	6,912	△ 6,913
当期一般正味財産増減額	5,063,318	9,020,925	△ 3,957,607
一般正味財産期首残高	76,420,282	67,399,357	9,020,925
一般正味財産期末残高	81,483,600	76,420,282	5,063,318
II 指定正味財産増減の部			
(1) 収益			
収益計	0	0	0
(2) 費用			
費用計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	2,000,000	2,000,000	0
指定正味財産期末残高	2,000,000	2,000,000	0
III 正味財産期末残高	83,483,600	78,420,282	5,063,318

財産目録

令和3年3月31日現在

科目	使用目的等	金額
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
現金手許有高	運転資金として	32,016
当座預金 平塚信用金庫 本店営業部	運転資金として	26,086,865
普通預金 平塚信用金庫 本店営業部	運転資金として	6,318,033
普通預金 湘南農業協同組合 八重咲支所	運転資金として	14,700,819
郵便振替口座 ゆうちょ銀行	運転資金として	768,462
普通預金 三菱UFJ銀行 平塚支店	特定資産利息振込用	103,652
現金預金計		48,009,847
未収金 平塚市他386件	受取配分金他	34,895,139
(公社)神奈川県シルバー人材センター連合会	派遣事務手数料・職業紹介手数料1件	11,484,130
未収金計		46,379,269
前払金	次年度役員保険料	32,000
流動資産合計		94,421,116
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
定期預金 三菱UFJ銀行 平塚支店	平塚市からの出資金	2,000,000
基本財産合計		2,000,000
(2) 特定資産		
退職給付引当資産 定期預金 平塚信用金庫 本店営業部	職員4名の退職金の支払に備えたもの	28,629,790
退職給付引当資産 定期預金 三菱UFJ銀行 平塚支店	職員4名の退職金の支払に備えたもの	5,672,790
減価償却引当資産 定期預金 三菱UFJ銀行 平塚支店	車両等の減価償却累計額相当	8,534,684
減価償却引当資産 定期預金 平塚信用金庫 本店営業部	車両等の減価償却累計額相当	10,107,077
財政運営資金積立資産 定期預金 平塚信用金庫 本店営業部	公益目的事業のシルバー人材センター事業の財源として使用する	3,000,000
特定資産合計		55,944,341
(3) その他の固定資産		
車両運搬具 車両11台	公益目的保有財産でありシルバー人材センター事業に使用している	5,239,092
什器備品 紙折り機等9点	公益目的保有財産でありシルバー人材センター事業に使用している	908,733
什器備品 耐火金庫等4点	事務所使用	270,523
リース資産 業務システムサーバー他周辺機器	事務所使用	1,216,944
電話加入権	事務所使用	149,968
預託金	公益目的保有財産である車両のリサイクル預託金	89,398
出資金	平塚信用金庫	30,000
その他の固定資産合計		7,904,658
固定資産合計		65,848,999
資産合計		160,270,115
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金		
事業団会員	3月度配分金等支払743件	31,637,831
平塚市他	事業に係る経費(業者支払分・消費税等)	4,728,687
人件費(職員、社会保険)	3月分時間外手当、社会保険料3月分	1,016,563
未払金計		37,383,081
前受金	次年度前受金2件	12,474
預り金	所得税、雇用保険	57,940
期末勤労手当引当金	令和2年12月から令和3年3月まで4か月分	3,813,496
流動負債合計		41,266,991
2. 固定負債		
退職給付引当金	職員退職金要支給額	34,302,580
リース負債 業務システムサーバー他周辺機器		1,216,944
固定負債合計		35,519,524
負債合計		76,786,515
正味財産		83,483,600

公益目的保有財産の明細

財産種別	公益認定前取得 不可欠特定財産	公益認定後取得 不可欠特定財産	その他の公益目的保有財産	使用事業
車両			塵芥車等車両 11台 5,239,092円	シルバー人材センター運営事業
什器			紙折り機等 9点 908,733円	シルバー人材センター運営事業
預託金			公益目的保有財産である車両のリサイクル預託金 89,398円	シルバー人材センター運営事業
合計			6,237,223円	

財務諸表に対する注記

1. 適用する会計基準

財務諸表は平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会制定の「公益法人会計基準」に準拠して作成している。

2. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

3. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし。

(3) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産について、定額法により直接減価償却を実施している。

なお、当事業年度から取得した有形固定資産については、残存価額を零とし、償却累計額が当該資産の取得価額から備忘価額(1円)を控除した金額に達するまで償却する方法を採用している。

(4) 引当金の計上方法

退職給付引当金は、期末退職給付の要支給額に相当する金額を計上している。

期末勤勉手当引当金は12月から3月までの4か月分を計上している。

(5) リース取引の処理方法

総額300万円超の所有権移転外ファイナンス・リース取引についてリース会計基準を適用している。

なお、減価償却についてはリース期間定額法によっている。

(6) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は税込方式によっている。

4. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期残高	当期増加額	当期減少額	当期残高
基本財産				
定期預金	2,000,000	0	0	2,000,000
小計	2,000,000	0	0	2,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	32,068,590	2,233,990	0	34,302,580
減価償却引当資産	18,336,649	1,108,112	803,000	18,641,761
財政運営資金積立資産	0	3,000,000	0	3,000,000
小計	50,405,239	6,342,102	803,000	55,944,341
合計	52,405,239	6,342,102	803,000	57,944,341

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当 額)	(うち一般正 味財産からの 充当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
定期預金	2,000,000	2,000,000	0	0
小計	2,000,000	2,000,000	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	34,302,580	0	0	34,302,580
減価償却引当資産	18,641,761	0	18,641,761	0
財政運営資金積立資産	3,000,000	0	3,000,000	0
小計	55,944,341	0	21,641,761	34,302,580
合計	57,944,341	2,000,000	21,641,761	34,302,580

6. 担保に供している資産

該当なし。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	21,933,858	16,694,766	5,239,092
什器備品	3,877,512	2,698,256	1,179,256
リース資産	6,084,720	4,867,776	1,216,944
合計	31,896,090	24,260,798	7,635,292

8. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
運営補助金	国	0	14,500,000	14,500,000	0	—
運営補助金	市	0	14,500,000	14,500,000	0	—
ITサービス導入支援補助金	市	0	558,000	558,000	0	
合計		0	29,558,000	29,558,000	0	

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記5で記載しているので省略する。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	前期残高	当期増加額	当期減少額	当期残高
退職給付引当金	32,068,590	2,233,990	0	34,302,580
小計	32,068,590	2,233,990	0	34,302,580
期末勤勉手当引当金	2,852,925	3,813,496	2,852,925	3,813,496
小計	2,852,925	3,813,496	2,852,925	3,813,496
合計	34,921,515	6,047,486	2,852,925	38,116,076

監査報告書

公益財団法人平塚市生きがい事業団

理事長 升水 一義 様

令和3年5月7日

公益財団法人平塚市生きがい事業団

監事 橋本正秋 

監事 池谷好香 

私たち監事は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 1 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 2 理事の職務の執行に関する不正の行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上